

コニカミノルタホールディングス株式会社 2012年度第3四半期決算説明会

2013年1月31日

常務執行役
安藤 吉昭

- 本資料の記載情報
本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。
- 将来見通しに係わる記述についての注意事項
本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

9ヶ月累計では、産業用材料・機器事業がグループ業績を牽引し、円高環境が続く中、増収増益。

3Qは、情報機器事業が弱含んで減益となるも、4Qでのリカバリーを目指す。

- ▶ 情報機器事業：オフィス分野は、ITサービス強化と新製品効果でカラー機は販売好調も、モノクロ機は減少。PP分野は、景気減速など市場環境が厳しくなる中、カラー機は回復の兆しあるも、トータルでは前年並みに留まる。
- ▶ 産業用材料・機器事業：HDD用ガラス基板・ピックアップレンズの不振続くも、TACフィルム・交換レンズ・計測機器などの販売増で補い、収益モメンタム維持。
- ▶ ヘルスケア事業：デジタル入力機器（DR）の販売が堅調に推移し、黒字維持。

2012年度第3四半期 全社業績要約



KONICA MINOLTA

	12年度	11年度	YoY	12年度	11年度	YoY
	3Q累計	3Q累計		3Q	3Q	
売上高	5,777	5,604	174	1,939	1,820	119
売上総利益	2,698	2,600	97	898	864	34
(売上総利益率)	46.7%	46.4%		46.3%	47.5%	
営業利益	271	233	38	68	77	△ 9
(営業利益率)	4.7%	4.2%		3.5%	4.2%	
のれん代償却額	71	66	5	24	22	2
のれん代償却前営業利益	342	299	43	92	99	△ 7
(のれん代償却前営業利益率)	5.9%	5.3%		4.7%	5.4%	
経常利益	261	189	72	79	73	6
四半期純利益	103	54	49	27	16	11
(四半期純利益率)	1.8%	1.0%		1.4%	0.9%	
EPS(円)	19.46	10.18	9.28	5.11	3.11	2.00
設備投資額	249	224		78	86	
減価償却費	333	360		115	124	
研究開発費	534	555		188	187	
FCF(営業CF-投資CF)	△ 137	177		△ 42	18	
<参考>営業CF-設備投資CF	45	247		76	22	
為替レート [円] USD	80.00	78.99	1.01	81.17	77.38	3.79
Euro	102.17	110.61	△ 8.44	105.25	104.29	0.96

2012年度第3四半期 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高

	12年度 3Q累計	11年度 3Q累計	YoY	12年度 3Q	11年度 3Q	YoY
情報機器	4,052	4,009	43	1,402	1,319	83
産業用材料・機器	1,144	990	154	350	304	46
ヘルスケア	501	519	△ 18	162	173	△ 11
ホールディングス他	81	86	△ 5	25	25	△ 0
グループ計	5,777	5,604	174	1,939	1,820	119

営業利益 (右側: 営業利益率)

	12年度 3Q累計	11年度 3Q累計	YoY	12年度 3Q	11年度 3Q	YoY
情報機器	184 4.5%	246 6.1%	△ 62	54 3.8%	94 7.1%	△ 40
産業用材料・機器	215 18.8%	104 10.5%	111	59 16.9%	28 9.2%	31
ヘルスケア	12 2.4%	△ 6 -1.2%	18	0 0.1%	△ 2 -1.3%	2
ホールディングス他	△ 140 -	△ 112 -	△ 28	△ 45 -	△ 42 -	△ 2
グループ計	271 4.7%	233 4.2%	38	68 3.5%	77 4.2%	△ 9



■ 3Q決算のポイント



世界景気停滞の中でオフィスカラー機は販売拡大するも、モノクロ機が販売減。プロダクション機も弱含む。製造コストの低減は改善傾向も、計画比では未達。将来成長に向けた先行投資は継続して実施。

販売数量減および品種構成差： △16億円

- ▶ オフィスMFPにおけるモノクロ機の販売急減。
- ▶ プロダクションプリント機におけるモノクロ機販売減とカラー機の低位シフト。

製造コスト悪化： △ 6億円

- ▶ 上期比では改善傾向も、計画には未達。

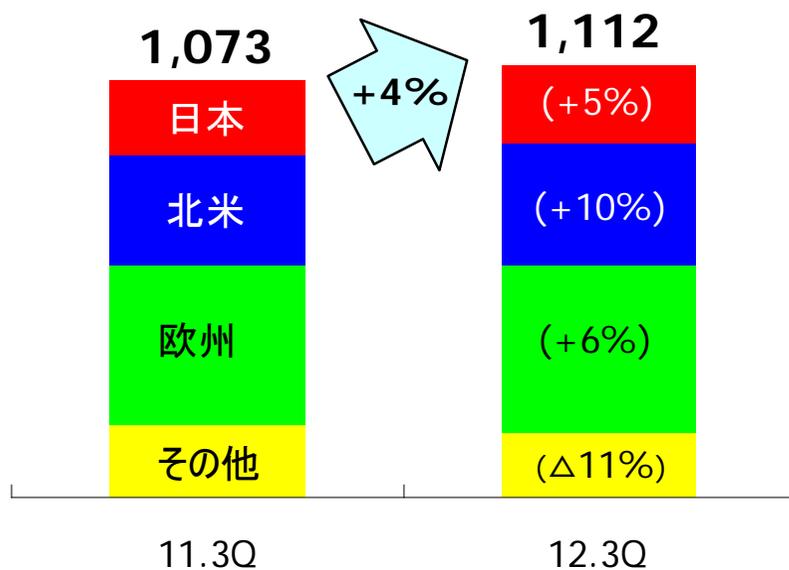
販売管理費の増加： △21億円

- ▶ M&Aに加えOPSやGMA、PP販売力を強化。

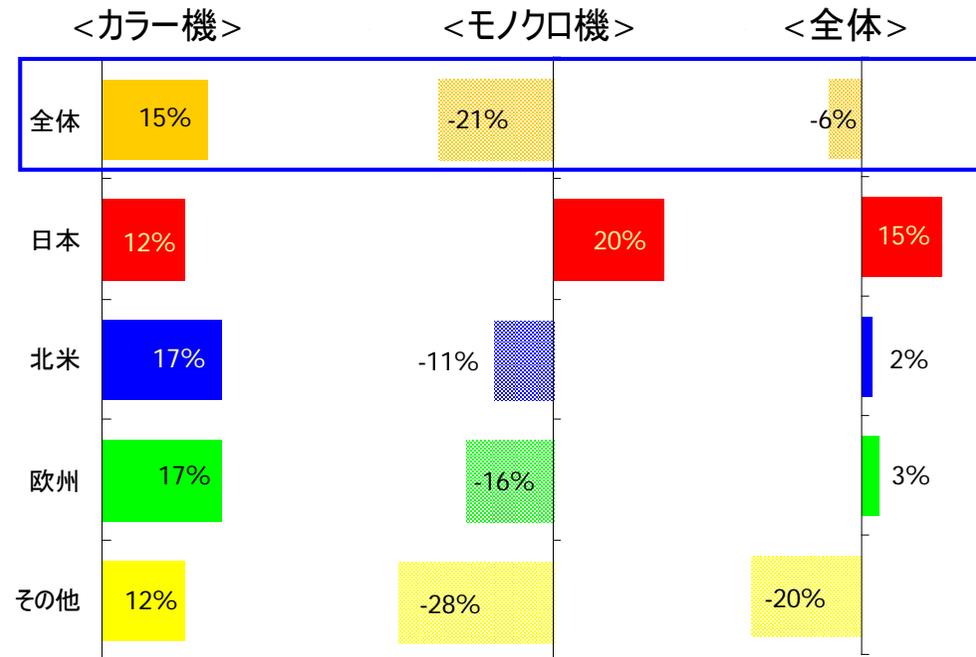
日米欧の主要市場では、カラー新製品が好調に推移し増収。
 一方、モノクロ機は中低速機が中国・OEM等で減少。
 ノンハード売上は堅調。

地域別売上 (YoY)

【単位：億円】



A3MFP販売台数伸長率 (YoY)



情報機器事業： PP分野の販売状況

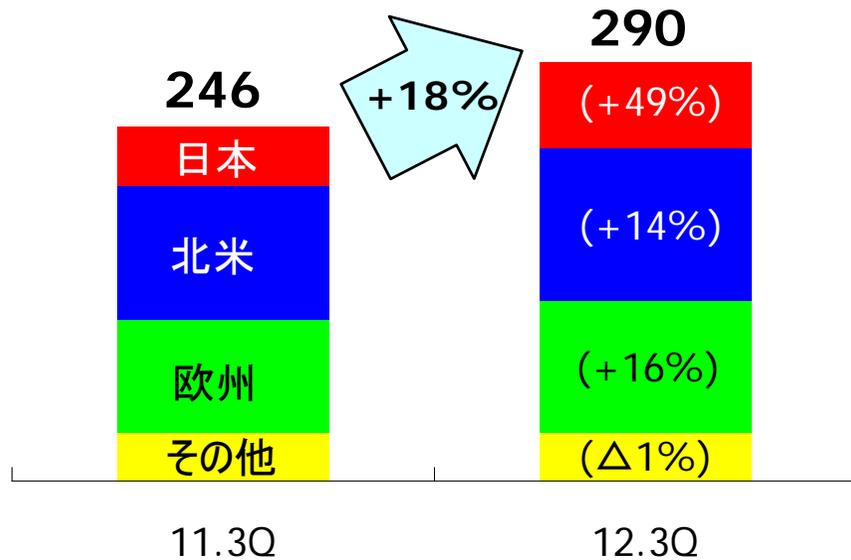


KONICA MINOLTA

カラー機は、北米で拡販施策が奏功し、販売モメンタム回復。
 モノクロ機は日欧では伸ばすも、景気影響で全般に弱含む。
 日欧ではM&A戦略を推進し、事業規模を拡大。

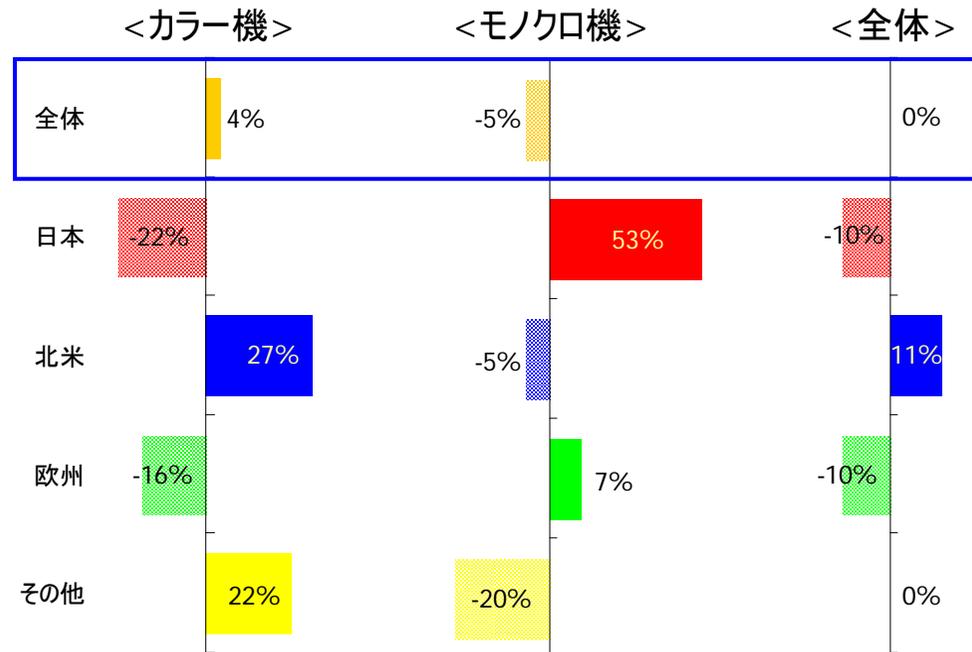
地域別売上 (YoY)

【単位：億円】



Giving Shape to Ideas

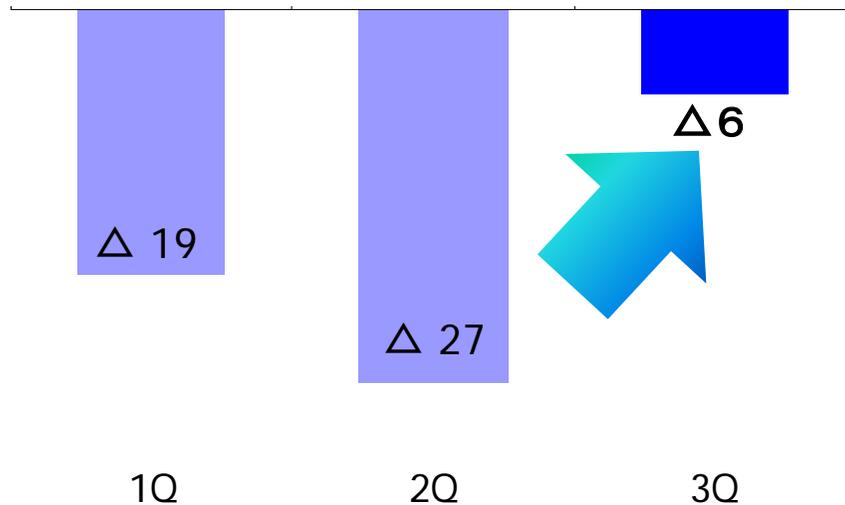
PP機販売台数伸長率 (YoY)



カラー新製品の立上げに伴い、コスト低減が計画未達の状況が続く。3Qからは習熟度の向上など改善の兆しもあり、4Qでのコスト目標の達成に向けた取組みを加速。

営業利益増減におけるコスト要因の推移

【単位：億円】



コストダウン計画未達について

- ▶ 5機種/1プラットフォームの新設計で、調達先・自社工程とも習熟に時間を要した。
- ▶ 目標コストには未達も、習熟向上し、生産は安定。
- ▶ 4Qは更なる変動費削減、固定費削減(人員効率化含む)を進める。



業容転換への取り組みは、順調に進捗。

- GMA売上高： 38億円（前年同期比 +30%）
- OPS売上高： 83億円（同 +43%）
- ITサービス・ソリューション売上高： 95億円（同 +69%）
- M&A： 欧州で3件、米国で2件、中国で1件実施
 - ▶ イタリア： オフィス/PP併営のディストリビューターを買収（11月）
 - ▶ ドイツ： ITサービスプロバイダーを買収（12月）
 - ▶ イギリス： プリントマネジメントサービス会社を買収（12月） など

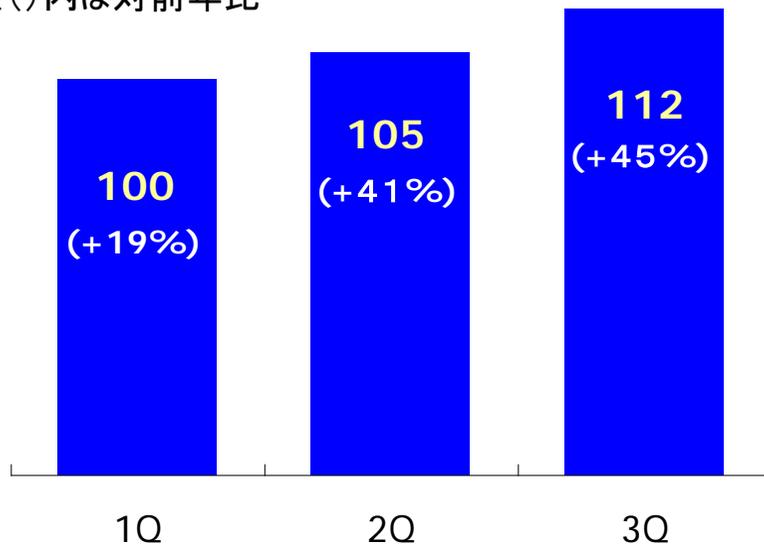


TACフィルムは、VA-TAC、通常TACとも薄膜を強みに3Qも販売好調。交換レンズや光源色計測器も堅調。HDD用ガラス基板は、市況悪化により受注が急減。

TACフィルム販売数量推移

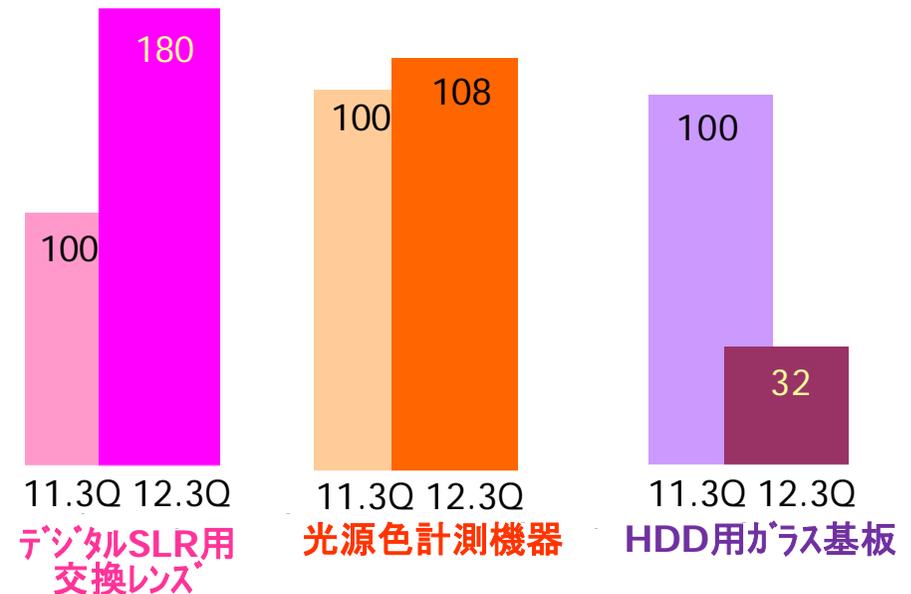
※12.1Qを100とした場合の指数

※()内は対前年比



他主要製品の対前年販売数伸長率

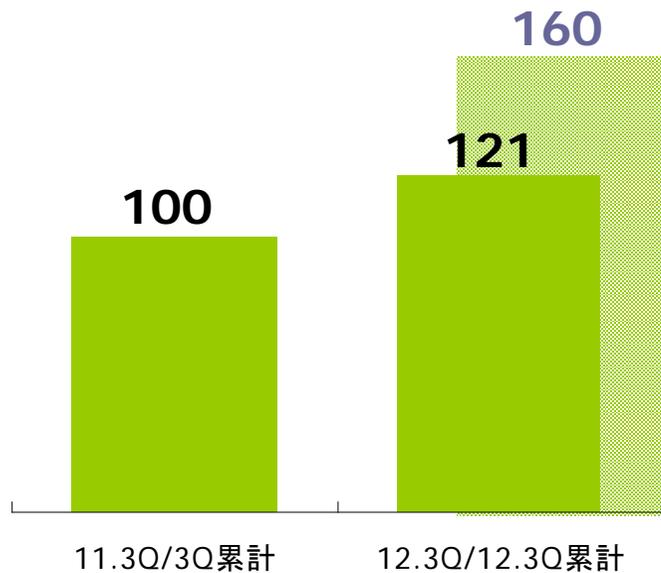
※11.3Qを100とした場合の指数



一般撮影装置、回診向けのワイヤレスカセット型DRが好調。競争優位の製品力と販売戦略が奏功し、販売拡大による市場設置台数も着実に増加。

DR販売数量 (YoY)

※11.3Q/3Q累計を100とした場合の指数



当社DRの強み

- ▶優れた携帯性や操作性が高く評価され、カセット型DRでは国内トップシェア。
- ▶国公立・大学病院集中攻略により、地方や系列病院へも波及効果。
- ▶海外ではBtoBビジネスも開始。
- ▶最大需要期の4Qに向けての受注も大きく積み上がる。

■ Charterhouse PM Ltd. (情報機器事業 12年12月)

- ▶ 目的：
 - ・同社が持つ大企業顧客の大量印刷ニーズに対するソリューション提案力及び欧州18ヶ国をカバーするサービスネットワークの獲得によるPP事業強化。
- ▶ 概要：
 - ・年商98百万ポンド(11年度実績)
 - ・英国に本拠を置く、欧州大手のプリントマネジメントサービス会社。

■ Instrument Systems GmbH (産業用材料・機器事業 12年11月)

- ▶ 目的：
 - ・“デジタル家電依存からの業容転換”に向けた施策として実施。
 - ・将来成長が期待されるLED照明含む総合的な光源色測定分野におけるトップポジション構築。
- ▶ 概要：
 - ・年商30百万ユーロ(11年度実績)
 - ・ドイツに本拠を置く、ハイエンド照明関連測定器のトップメーカー。



■ 2012年度業績見通しについて



4Q為替前提を[ドル=85円、ユーロ=115円]に見直して、
前回予想 [売上高:8,000億円、営業利益:480億円、
当期純利益:220億円] を据え置く。

- ▶ 事業間での計画進捗の強弱を認識するも、全社業績、セグメント業績とも
前回予想を据え置く。
- ▶ 配当予想については、[期末配当:7円50銭/1株(年間配当:15円/1株)]の
期初予想を据え置く。

2012年度業績予想 全社業績



[億円] KONICA MINOLTA

	今回予想	前回予想 ('12.10.31公表)	差異	11年度実績
売上高	8,000	8,000	0	7,679
営業利益	480	480	0	403
(営業利益率)	6.0%	6.0%		5.3%
経常利益	440	440	0	348
四半期純利益	220	220	0	204
(四半期純利益率)	2.8%	2.8%		2.7%

1円変動時の為替感応度(年間)

	売上高	営業利益
US\$:	29億円	4億円
Euro:	14億円	8億円

為替レート [円]	USD			
	85.00	80.00	5.00	79.07
	115.00	100.00	15.00	108.96

※12.4Q想定レート ※12.2Q以降想定レート

設備投資	500	500		430
減価償却費	550	550		551
研究開発費	730	730		726
FCF(営業CF-投資CF)	△ 100	△ 100		296
<参考>営業CF-設備投資CF	300	300		374

2012年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	('12年10月31日公表)		YoY
	12年度予想	11年度実績	
情報機器	5,600	5,476	2%
産業用材料・機器	1,500	1,351	11%
ヘルスケア	750	730	3%
ホールディングス他	150	121	-
グループ計	8,000	7,679	4%

営業利益 (右側: 営業利益率)	('12年10月31日公表)		YoY
	12年度予想	11年度実績	
情報機器	390 7.0%	395 7.2%	-1%
産業用材料・機器	230 15.3%	152 11.2%	51%
ヘルスケア	25 3.3%	1 0.1%	-
ホールディングス他	△ 165 -	△ 144 -	-
グループ計	480 6.0%	403 5.3%	19%



4Qにおけるアクション

- ▶ 情報機器事業では、①製造コスト低減活動の加速。②オフィスモノクロ機のテコ入れと好調なカラー機の一層の販売拡大。③プロダクションプリントでは、カラー上位機種とモノクロ新製品の販売拡大。
- ▶ 産業用材料・機器事業では、一部製品での需要減や競争激化は織り込むが、主力製品の販売強化により収益を上積み。
- ▶ ヘルスケア事業では、好調なDR製品の販売拡大による収益上積み。
- ▶ 全社経費のコントロールを徹底。

リスクファクター

- ▶ 円高への揺れ戻し、マクロ環境の急変。



■ 補足情報

全社業績(対前年比)

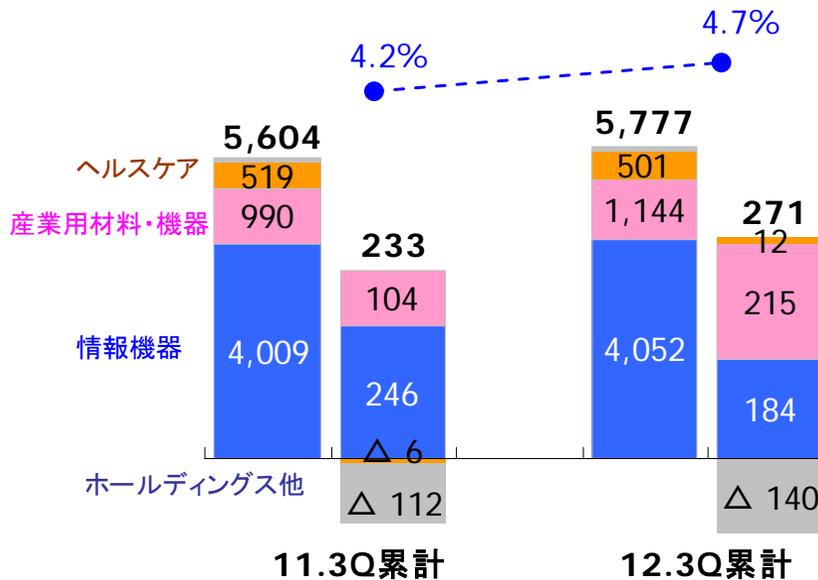
3Qは増収ながら減益も、9ヶ月累計での増収増益基調は変わらず。

9ヶ月

- 売上高: 前年同期比 + 3%(為替影響除く +4%)
- 営業利益: 前年同期比 +16%(為替影響除く+42%)

左:売上高 右:営業利益 -営業利益率

【億円】

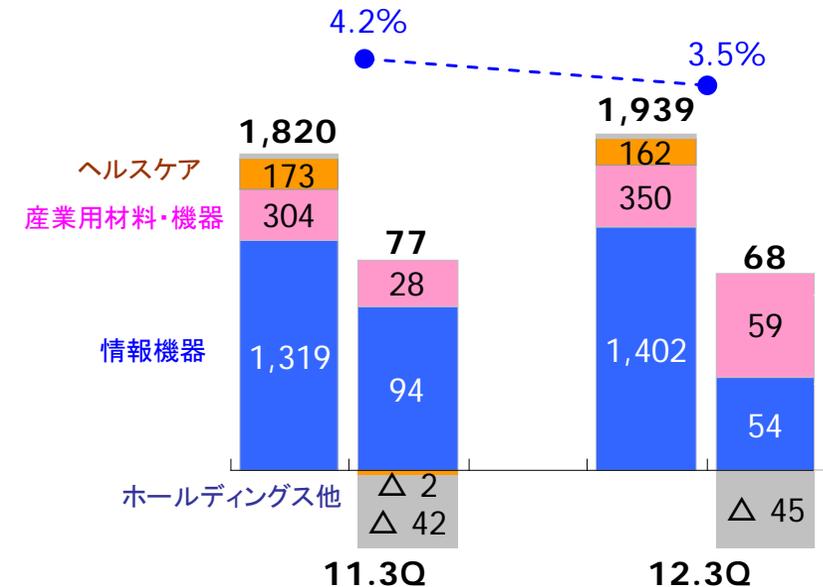


3Q

- 売上高: 前年同期比 + 7%(為替影響除く + 4%)
- 営業利益: 前年同期比 △11%(為替影響除く△21%)

左:売上高 右:営業利益 -営業利益率

【億円】



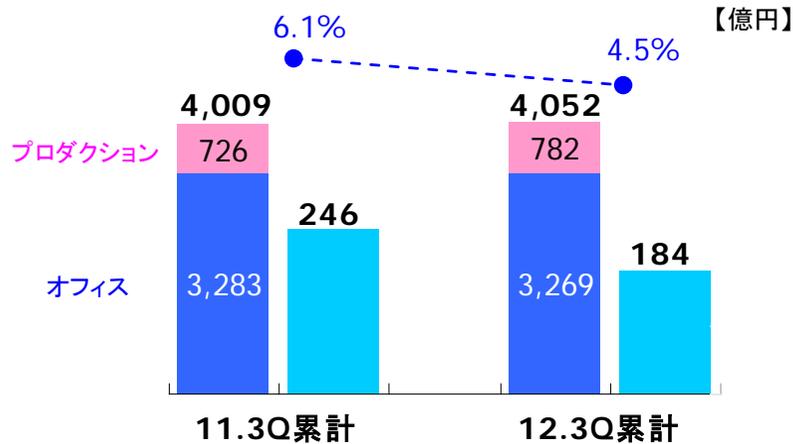


オフィス・PPともに3Qは増収も、コスト低減未達や販売費増で減益続く。

9ヶ月

- 売上高: 前年同期比 + 1% (為替影響除く + 3%)
- 営業利益: 前年同期比 Δ 25% (為替影響除く Δ 2%)

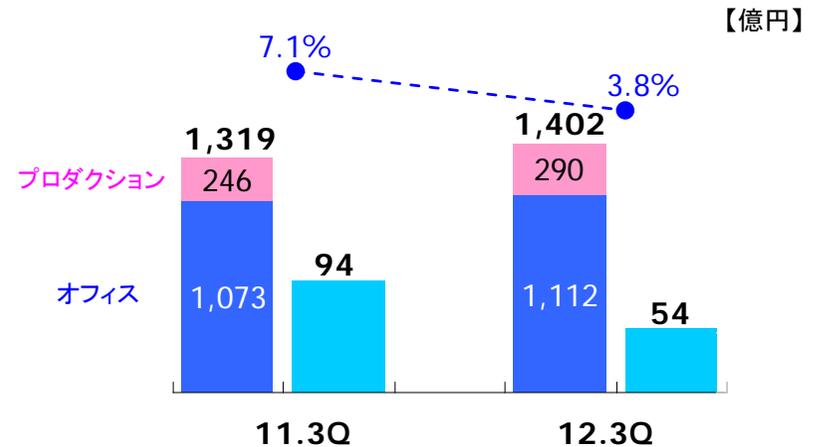
左: 売上高 右: 営業利益 - 営業利益率



3Q

- 売上高: 前年同期比 + 6% (為替影響除く + 3%)
- 営業利益: 前年同期比 Δ 43% (為替影響除く Δ 50%)

左: 売上高 右: 営業利益 - 営業利益率



※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	他地域	全体
オフィス	+4%	+7%	+2%	Δ 22%	+2%
PP	+37%	+4%	+5%	Δ 11%	+9%
合計	+9%	+6%	+3%	Δ 20%	+3%

※地域別売上成長率(現地通貨ベース)

	日本	米国	欧州	他地域	全体
オフィス	+5%	+5%	+3%	Δ 35%	+1%
PP	+49%	+8%	+14%	Δ 27%	+15%
合計	+12%	+5%	+5%	Δ 34%	+3%

情報機器事業 販売状況



KONICA MINOLTA

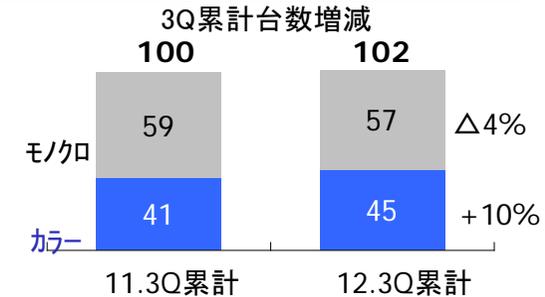
※四半期毎の販売台数推移および増減は30P参照

オフィスA3MFP (数量ベース)

地域別販売台数成長率(前年同期比)

3Q累計	日本	米国	欧州	他地域
カラー	+10%	+16%	+8%	+9%
モノクロ	+22%	△1%	△15%	△2%
計	+14%	+7%	△1%	0%

3Q	日本	米国	欧州	他地域
カラー	+12%	+17%	+17%	+12%
モノクロ	+20%	△11%	△16%	△28%
計	+15%	+2%	+3%	△20%

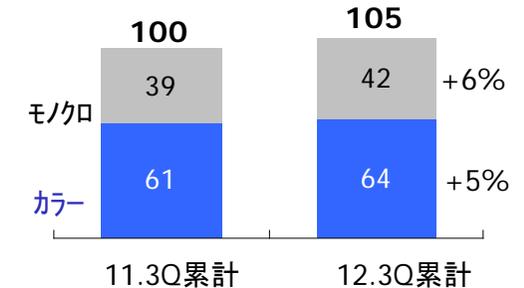


プロダクションプリント機 (数量ベース)

※地域別販売台数成長率(前年同期比)

3Q累計	日本	米国	欧州	他地域
カラー	+20%	+6%	+2%	+5%
モノクロ	+83%	+6%	+13%	△7%
計	+38%	+6%	+5%	0%

3Q	日本	米国	欧州	他地域
カラー	△22%	+27%	△16%	+22%
モノクロ	+53%	△5%	+7%	△20%
計	△10%	+11%	△10%	0%

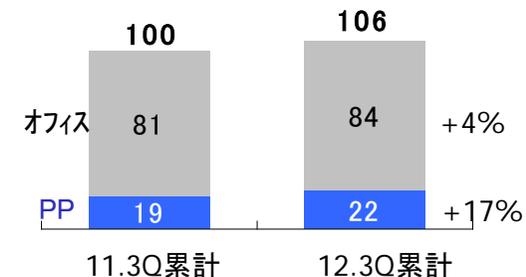


ノンハード売上 (現地通貨ベース)

※地域別ノンハード売上成長率(前年同期比、現地通貨ベース)

3Q累計	日本	米国	欧州	他地域
オフィス	△3%	+8%	+7%	+1%
PP	+34%	+2%	+22%	+5%
計	+3%	+6%	+9%	+2%

3Q	日本	米国	欧州	他地域
オフィス	△4%	+8%	+9%	+2%
PP	+39%	+3%	+45%	+13%
計	+4%	+7%	+14%	+4%

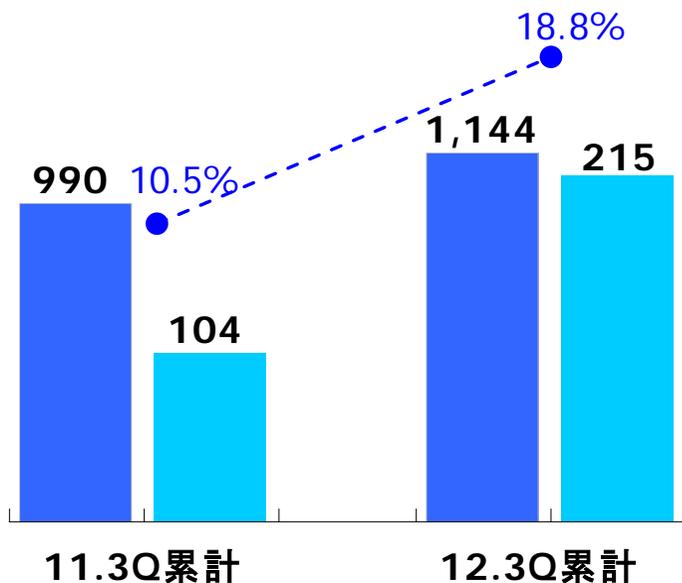


主力製品が堅調に推移し、当期間を通して増収増益を維持。

9ヶ月

- 売上高: 前年同期比 +16%
- 営業利益: 前年同期比 +106%

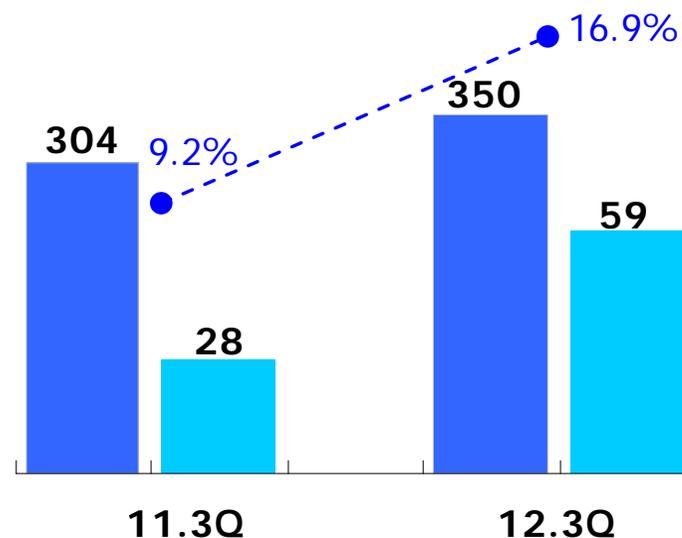
左:売上高 右:営業利益 - 営業利益率 【億円】



3Q

- 売上高: 前年同期比 +15%
- 営業利益: 前年同期比 +112%

左:売上高 右:営業利益 - 営業利益率 【億円】



産業用材料・機器事業 販売状況(数量ベース)

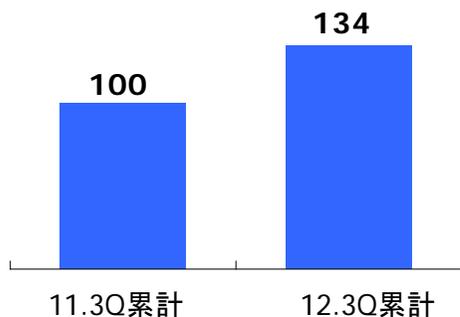


KONICA MINOLTA

※四半期毎の販売数量推移は31P参照

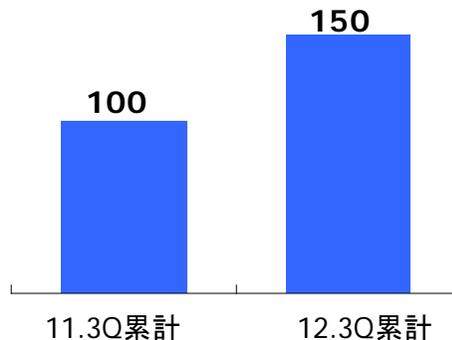
TACフィルム

- ▶ VA-TAC、薄膜品とも当期間を通して好調な販売。



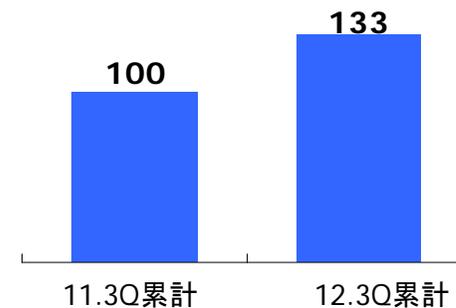
D-SLR用交換レンズ

- ▶ 主要顧客向けに好調。



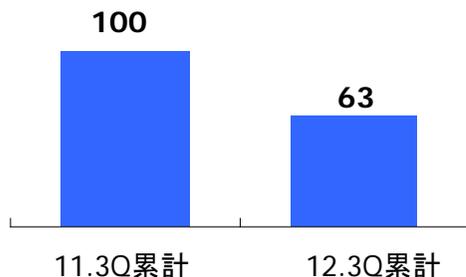
色計測機

- ▶ 大口顧客獲得により増。



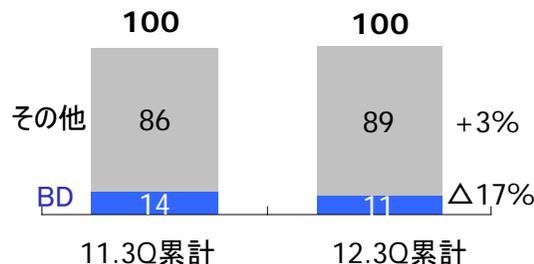
HDD用ガラス基板

- ▶ 顧客の調整が続き、減少。



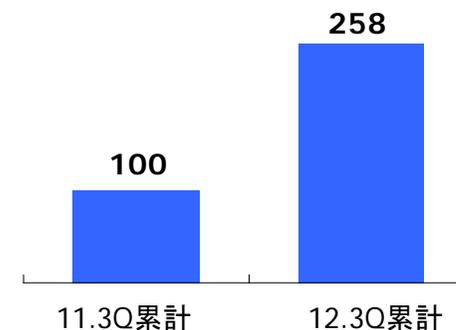
光ピックアップレンズ

- ▶ BDに加えDVDも伸び悩む。



携帯電話用光学ユニット

- ▶ スマホ向けが伸長。



ヘルスケア事業 業績概況・販売状況(数量ベース)



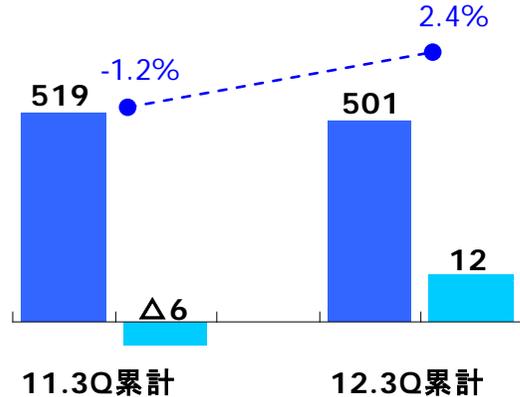
KONICA MINOLTA

DR拡販によりフィルム販売の減少をカバーし、減収ながら増益維持。

9ヶ月

- 売上高: $\Delta 4\%$
- 営業利益: 18億円の改善

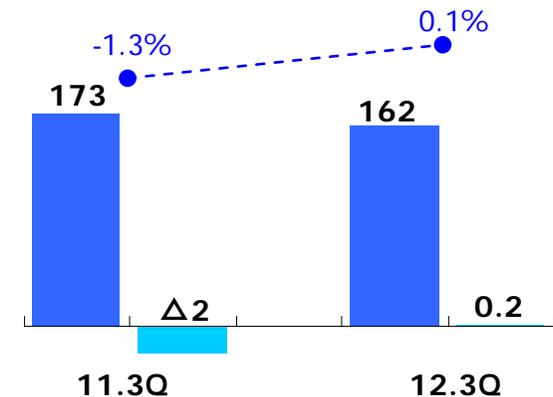
左:売上高 右:営業利益 -営業利益率 【億円】



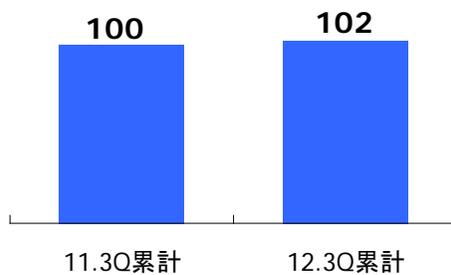
3Q

- 売上高: $\Delta 6\%$
- 営業利益: 2億円の改善

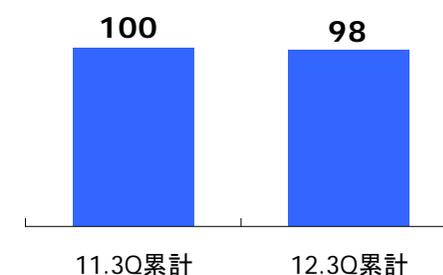
左:売上高 右:営業利益 -営業利益率 【億円】



デジタル入力機器 (CR・DR)



DRYフィルム



営業利益増減分析



KONICA MINOLTA

3Q累計 前年同期比較 (12年度 vs. 11年度)

	情報機器	産業用 材料・機器	その他	合計 [億円]
[要因]				
為替影響	△ 57	△ 1	△ 0	△ 59
価格変動	0	△ 53	△ 3	△ 56
数量増減他	114	134	△ 9	239
コストダウン	△ 51	43	8	△ 0
経費増減	△ 68	△ 13	△ 6	△ 86
[営業利益]				
増減額(YoY)	△ 62	110	△ 10	38

<上期訂正>

	修正前	
	情報機器	合計
数量増減他	105	186
コストダウン	△ 21	16
	↓	
	修正後	
	情報機器	合計
数量増減他	130	211
コストダウン	△ 46	△ 9

四半期 前年同期比較 (12年度3Q vs. 11年度3Q)

	情報機器	産業用 材料・機器	その他	合計
[要因]				
為替影響	7	△ 0	2	8
価格変動	△ 4	△ 20	0	△ 24
数量増減他	△ 16	52	△ 8	28
コストダウン	△ 6	9	6	9
経費増減	△ 21	△ 9	0	△ 29
[営業利益]				
増減額(YoY)	△ 40	32	△ 0	△ 9

販売管理費・営業外損益・特別損益



KONICA MINOLTA

	12年度 3Q	11年度 3Q	YoY	12年度 3Q累計	11年度 3Q累計	[億円] YoY
販売管理費						
販売変動費	99	102	△ 3	320	316	4
研究開発費	188	187	1	534	555	△ 21
人件費	327	296	31	941	887	54
その他	216	203	13	631	609	22
販売管理費 計	830	787	42	2,427	2,368	59
	* 為替影響額: +13 億円(実質増減 +29 億円)			△ 27 億円(実質増減 +86 億円)		
営業外収支						
金融収支	△ 2	△ 1	△ 1	△ 6	△ 6	△ 0
為替差損益	17	5	11	7	△ 29	36
その他	△ 4	△ 8	4	△ 10	△ 8	△ 2
営業外収支 計	11	△ 4	14	△ 10	△ 44	34
特別損益						
固定資産売却損益	△ 3	△ 5	3	△ 13	△ 12	△ 1
投資有価証券売却・評価損益	3	△ 0	3	△ 0	△ 24	24
固定資産減損損失	△ 0	△ 1	0	△ 15	△ 1	△ 14
事業構造改善費用	0	△ 12	12	△ 4	△ 12	8
その他	△ 0	1	△ 2	△ 0	1	△ 1
特別損益 計	△ 1	△ 17	16	△ 32	△ 48	16

キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

				[億円]		
	12年度 3Q	11年度 3Q	YoY	12年度 3Q累計	11年度 3Q累計	YoY
税金等調整前四半期純利益	78	56	22	229	141	89
減価償却費	115	124	△ 9	333	360	△ 28
法人税等の支払額	△ 42	△ 31	△ 11	△ 103	△ 43	△ 60
運転資本増減他	30	△ 40	70	△ 103	32	△ 135
I. 営業活動によるキャッシュフロー	181	109	73	356	490	△ 134
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 223	△ 91	△ 132	△ 493	△ 313	△ 181
I.+ II. FCF	△ 42	18	△ 60	△ 137	177	△ 315
有利子負債の増減	△ 301	353	△ 653	△ 189	316	△ 505
配当金の支払額	△ 38	△ 38	△ 0	△ 78	△ 78	△ 0
その他	△ 3	△ 5	2	△ 11	△ 13	2
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 342	309	△ 651	△ 278	226	△ 504

貸借対照表



KONICA MINOLTA

資産の部	12年12月	12年3月	増減 [億円]
手元資金	1,915	2,319	△ 405
売上債権	1,763	1,742	21
棚卸資産	1,216	1,051	166
その他	559	547	12
流動資産 計	5,453	5,659	△ 206
有形固定資産	1,755	1,790	△ 35
無形固定資産	1,045	873	172
投資その他	734	698	36
固定資産 計	3,534	3,361	173
資産 合計	8,987	9,021	△ 34

負債および純資産の部

仕入債務	808	881	△ 74
有利子負債	2,177	2,279	△ 102
その他負債	1,556	1,510	46
負債 合計	4,540	4,671	△ 130
自己資本 (株主資本+その他包括利益累計額計)	4,433	4,337	96
その他	14	13	0
純資産 合計	4,447	4,350	97
負債・純資産 合計	8,987	9,021	△ 34

[円]

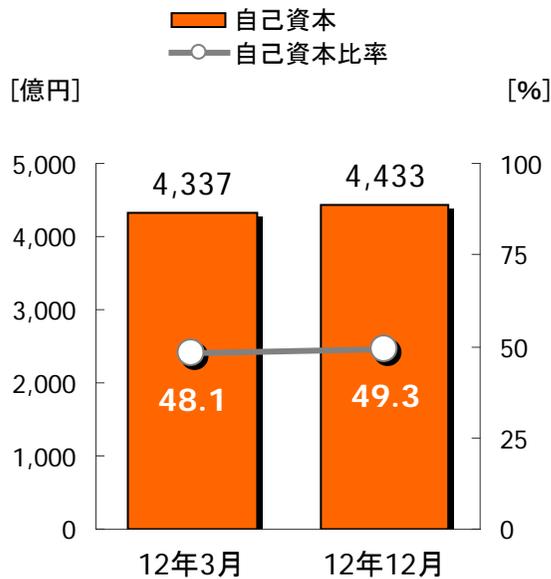
	12年12月	12年3月	増減
US\$	86.58	82.19	4.39
Euro	114.71	109.80	4.91

連結貸借対照表 主要指標



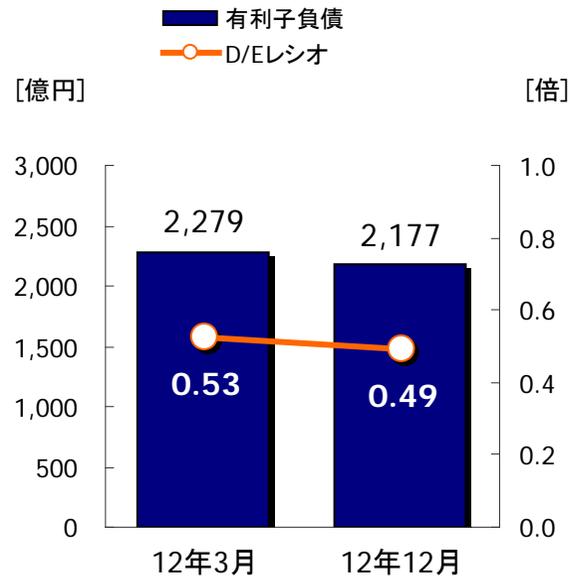
KONICA MINOLTA

● 自己資本比率



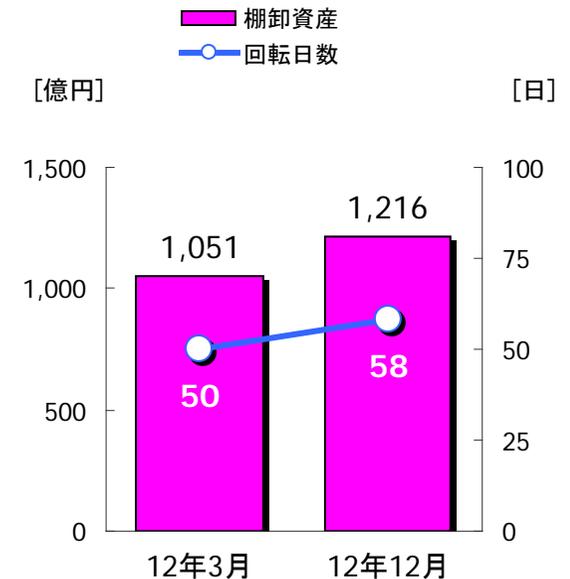
自己資本比率:
 $\text{自己資本} \div \text{期末総資産}$
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ:
 $\text{期末有利子負債} \div \text{自己資本}$
 ※自己資本=期末株主資本+その他包括利益累計額合計

● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



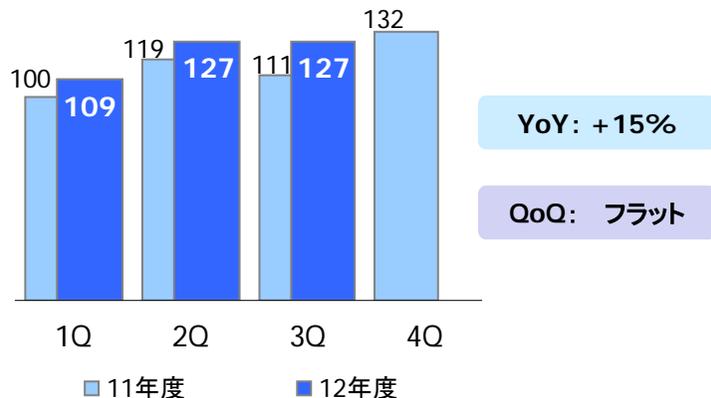
棚卸資産回転日数:
 $\text{期末棚卸資産} \div (\text{売上} / \text{日})$

情報機器事業 主要製品販売状況

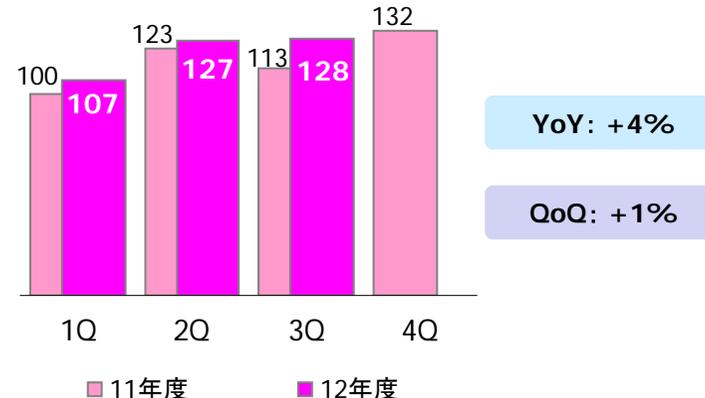


KONICA MINOLTA

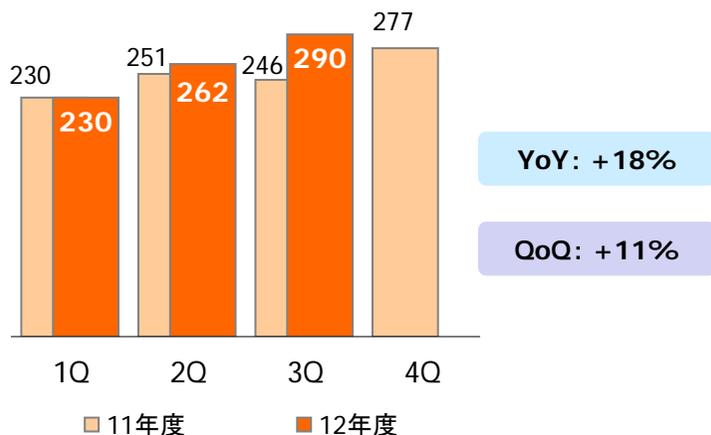
■ A3カラーMFP 販売台数*



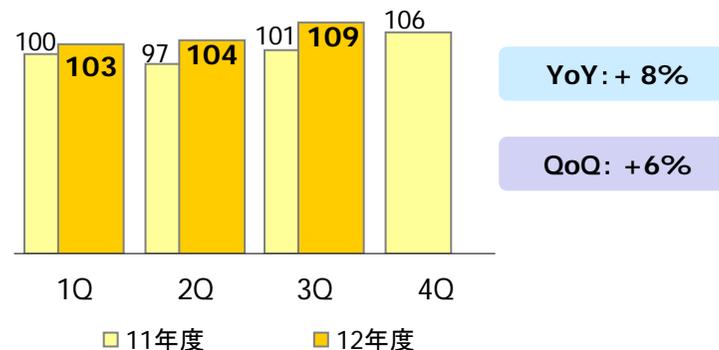
■ カラープロダクションプリント 販売台数*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



■ ノンハード売上* (為替影響排除後)

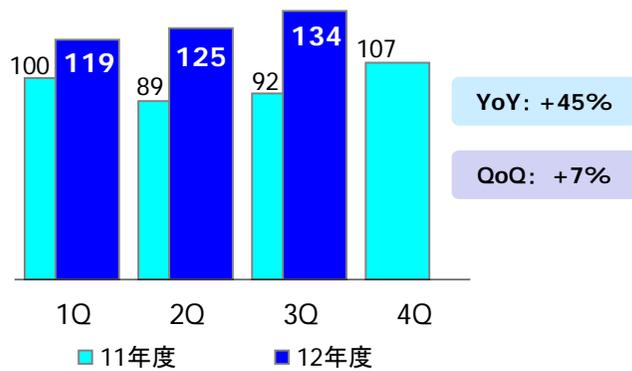


産業用材料・機器事業 主要製品販売状況

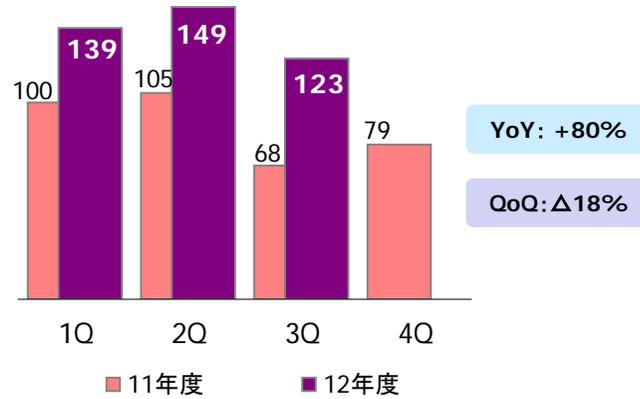


KONICA MINOLTA

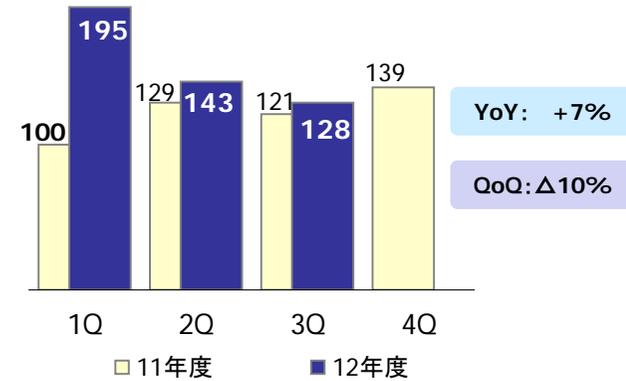
■ TACフィルム販売数量



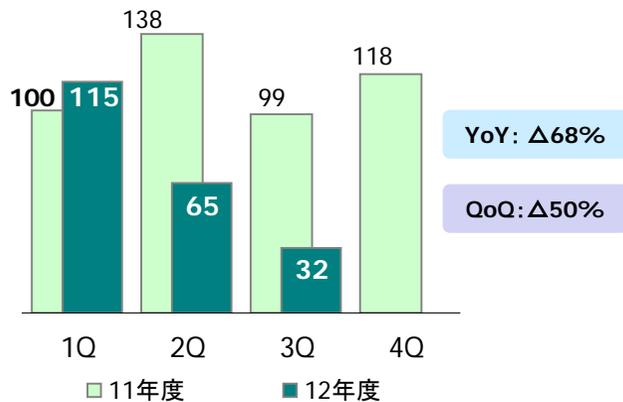
■ D-SLR用交換レンズ販売数量



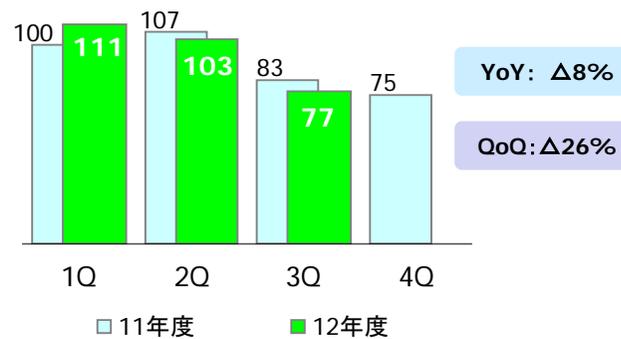
■ 色計測機販売数量



■ HDD用ガラス基板販売数量



■ ピックアップレンズ販売数量



■ カメラ付携帯用レンズ販売数量

